



ホームラン王としてその名を轟かせたヤンキース当時のベーブ・ルース

写真提供/鈴木洋子

# ベーブ・ルース

OHTANIがめざす二刀流ホームラン王

鈴木惣太郎  
氏田秀男

弘文出版



ベーブ・ルースと鈴木惣太郎氏

写真提供/鈴木洋子

## はじめに

OHTANI (大谷翔平) がエンゼルスで鮮烈デビュー!

そして目指すはベーブ・ルースの二刀流大記録「シーズン投打とも2ケタ」である。

そのOHTANIに向かって、

「キミならやれる。私はそのときがくるのを楽しみにしているんだ。日本はもとより、私の国のファンも凌駕するような選手になって欲しいねえ。ガンバレOHTANI!」

と天国から声援を送るのはベーブ・ルースだ。幼少時から孤児や不良少年、家庭に恵まれなかった子供たちなどの学校に入れられ、そこで覚えた野球で、ついに世界のホームラン王にまで上りつめた男である。

今年(2018年)は、そのベーブ・ルース没後70年である。

だが、それよりもルースが投手で2ケタ勝利+2ケタ本塁打という凄「二刀流」でアツと言わせたのは1918年(大7)、いまからちょうど100年前のことだった。そして、ルースにとって初めてのホームラン王にもなった年でもあった。

それからは誰よりも白球を天高く飛ばし続け、世界一の通算714本塁打を放った。その後、ハンク・アーロン、バリー・ボンズに追い抜かれ大リーグ史上3位に後退したが、それ

ほど野球に興味がない人でも、アーロン、ボンズの名は知らなくてもベーブ・ルースの名を知らぬ者はいないと言っても過言ではないだろう。

そのルースは米野球殿堂入り第1号でもあり、背番号3はヤンキースの永久欠番。まさに伝説の男で今日まで人気は衰えていない。

1983年(昭58)に米でルースの豪快なバッティングを描いた切手が発行され、1992年(平4)には映画「夢を生きた男IIザ・ベーブ」(邦題)が製作され日本でも公開された。

さらに、最近でもルース現役当時の記念品などがオークションに出品され、いずれも高値で落札されているのを見ても人気の凄さがわかっていうもの。

晩年の1934年(昭9)には日米野球で来日、どこでも熱烈な歓迎を受け、その期待に応え本領発揮のホームランを連発。全試合に出場し三冠王にもなった。

その日米野球のためアメリカに渡り、選手の来日交渉などあらゆる面で尽力しつつ、ベーブ・ルース一家と行動を共にした人物がいた。鈴木惣太郎氏である(プロフィール参照)。

私が同氏著『ベーブ・ルース』(朝明書院)を古書市で買い求めたのは30年ほど前。この本が発行されたのは1948年(昭23)6月で、しかもルースが他界する2カ月前のことだった。

鈴木氏は最後まで来日を拒んでいたベーブ・ルースを説得し、米チームのメンバーに加入させたことでも知られる。もしルースが来日しなかったら1936年に7球団でスタートした日本のプロ野球はもう少し遅れていたかもしれない。

日本各地で行われた日米野球はこの球場も超満員。そしてファンのお目当てはベーブ・ルースで、その熱気がプロ野球誕生へとつながって行ったと言ってもいいのではないか。

そのベーブ・ルースと日本人で最も緊密な間柄だったのが鈴木氏である。同氏の書かれた『ベーブ・ルース』をいずれ復刻本にしたいと私は思っていた。おそらくこれは、日本最初のベーブ・ルース描いた本ではないかと思われる。

そして前述のようにルースの真の「二刀流」＋「初の本塁打王」から100年という節目の年でもあることから、その夢を実現することができたというわけだ。

その本には有名な話も出てくるが、鈴木氏ならではの、誰も知らなかったルースの一面もふんだんに記されているのが興味深い。だが、圧巻は何といっても日米野球に関する「極秘話」の数々だ。

出版にあたり鈴木洋子さま、廣子さまには復刻を快く許諾していただき感謝いたします。

本書は鈴木氏の『ベーブ・ルース』を多少アレンジしつつ、できるだけ忠実に本文を再現し、それに私（氏田）が各項目の最後に（※と★印にて）主要人物やエピソードなどを加筆

し、いわば幹の鈴木氏に私が枝葉を付け一本の木にしたもので「知ってるつもりで、もっと知った」ベープ・ルースになったと思っただければ幸いである。

なお、本文における自称の『私』はすべて鈴木惣太郎氏であり、氏の本文旧仮名づかいなどは（ゐ↓い、對↓対）、漢数字は（三↓3）のように改めた。

メジャー・リーグ22年間の大活躍に、714本の本塁打を飛ばしたベーブ・ルースこそは、この一事をとっただけでもアメリカ野球の覇者である。

だが、それどころではない。彼の強打力はアメリカ野球界に、何人も成し得なかつた数々の記録を樹立したのみでなく、彼の出現によってアメリカのベースボール様式は、技術と作戦の面はもとより、その経営の部門に至るまで、ことごとく革命の与儀なきにさえ至つたのである。

こうした観点において、ベーブ・ルースはまさに、野球の偉人である。彼の如き偉人は彼の前には見出せなかつた。そして、彼の後に果たして、彼ほど豪快強打の大選手が出てくるであろうか？ 技術の点ではともかく、ベーブ・ルースほど世人の心をとらえ、常に人気の焦点となるような選手の出現は、野球の国アメリカにおいても容易には望み得られないであらう。

私（鈴木惣太郎）はベーブ・ルース一家と2カ月余にわたつて旅行を共にし、ルースその人の、強さをつぶさに味わつていたのであるが、彼の逞しい体力の活躍は人間に望み得られる最高至上の生活力の充実を示して、真に驚嘆すべきものがあつた。

こうした反面に彼は、子供の無邪気さを持ち、心の底から少年少女を愛してやまない。しかも彼は社交人としても、一点非の打ちどころのないアメリカ型の紳士なのである。野球の偉人、ベーブ・ルースは、かくして実に複雑多角の性格を持ち、人間として実に面白い存在で、筆者はそれを描くことを狙って、この一書をまとめたのであるが、意あまつて力足らず筆の動かぬのを忸怩（じくじ）するのである。

昭和23年3月28日

鈴木惣太郎

# 目次

はじめに	4
序	8
第1章 BOSTON	17
● 私の渡米日誌	18
● 野球の偉人「ベーブ」	20
● 子供が好きなベーブ	23
● 孤児ではない	25
● 巣立つ英雄児	26
● 学園から職業野球へ	28
● 名伯楽ジャック・ダン	32
● 世界的あだ名「ベーブ」誕生	34
● 投手術と外野守備の秘訣	37
● ルースとカップの一騎打ち	42
● レッドソックスからヤンキースへ	44

第2章 NEW YORK	47
● ルース移籍の内輪話	48
● ホームラン・ベイカー	51
● ルース最初の本塁打	53
● 著名人以上の名声	56
● アメリカ野球の革命	57
● 物を恐れぬ血気のルース	60
● ヤンキース初のワールド・シリーズ	62
● 1922年のワールド・シリーズ	65
● 1923年のワールド・シリーズ	67
● 生涯一度の首位打者になる	69
● ピンチを救う恩師	71
● ハギンス監督の一撃	74
第3章 HOMERUN & HOMERUN	77
● ベーブ・ルースの復活	78
● 研究の末に名投手を破る	79

● ベーブ・ルースの長打法……………	82
● タイ・カップとベーブ・ルース……………	84
● 愛用バットが折れて泣く……………	86
● 練習バット37本……………	87
● 計算できない車の罰金……………	89
● ルースが建てたヤンキー・スタジアム……………	90
● 特大本塁打の数々……………	92
第4章 ETCETERA……………	97
● 投打は左だが文字を書くのは右手……………	98
● 20年間にサイン20万回……………	99
● 作り出す幾多の記録……………	101
● 本塁打500号、600号記念ボール……………	104
● 第二の結婚……………	106
● 厳格なトレーニング……………	109
● 当たらぬ日のいたすら……………	111
● 優しいルースの心情……………	113

● 問題の1928年ワールド・シリーズ	115
● 大悶着の起きた第4戦	116
● クイック・リターンは認められず	117
● 幻のベーブ・ルース監督	118
● ジョー・マッカーシー監督誕生	120
● 有名なコールド・シャツ	122
● 筆者に語る真相	124
● 大監督ジョー・マッカーシーの怒り	126
● 第1回オールスター・ゲーム出場	127
● 無類の子供好き	128
● 空前のスランプ	130
● ついにヤンキースと決別	132
第5章 JAPAN	137
● 日本ヘルースを迎える計画	138
● 成功したオドールの努力	140
● ルースを誘い出す準備	141

- 床屋で日本行き談判……………143
- ルースとワールド・シリーズ観戦……………148
- いよいよ日本へ……………149
- 逞しき体と食欲……………152
- 模範を示す猛練習……………154
- 独歩名選手にして優秀市民……………155
- 掟を守ってバッグ携帯……………157
- 熱狂的大歓迎……………159
- 日本に来てよかった！……………162
- 空前の日米野球始まる……………164
- 頼まれても試合はできない……………167
- コニー・マック総監督の威令……………169
- 口出し許さぬ自信……………171
- 本領を発揮したルース……………173
- 優れたスポーツ外交大使……………175
- 沢村快投も日本惜敗……………177

● 2枚の写真紛失に怒る	182
● 鈴木惣太郎全米チーム監督	184
● ベーブ・ルースの印象	188
● 永久に輝く偉勲	190
【主要参考文献】	196
【主要人名インデックス】	198
ベーブ・ルース打撃成績表	200
あとがき	202
著者紹介	204